

“鉄脈”を世界に広げる

ビジネスの最前線で培った「機能」と「提案力」で次代のニーズに応える商社を目指します

第5次中期経営計画では、「マーケットの開拓」「付加価値の創造」

「グループ力の強化」を主要施策として掲げました。

この方針に基づき、国内ではJFE 電磁鋼板のグループ化や

阪和興業と共同で近江産業へ出資を行い、

また海外ではアセアンを中心とした成長地域・分野において、

大手鋼板製造メーカー、伸線加工会社への出資や鉄筋加工会社の設立など、

先を見据えた流通の再編・強化と積極的な経営資源の投入に

取り組んでまいりました。

引き続きJFE グループの中核商社として機能と提案力を磨きあげ、

グループ収益の最大化に貢献してまいります。



JFE 商事 株式会社
代表取締役社長 (CEO)

織田 直祐

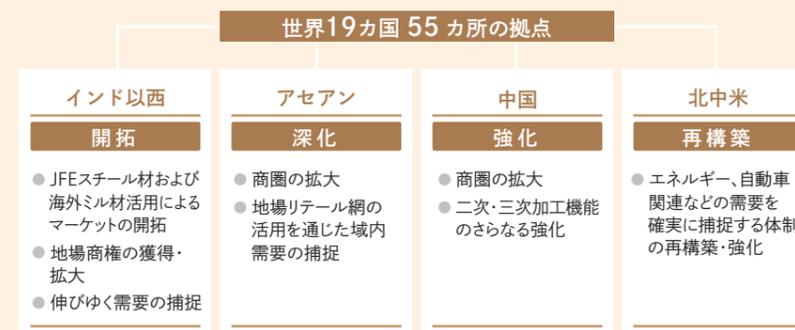
Efforts of JFE SHOJI TRADE

グループの中核を担う商社として、先を見据えた戦略で独自機能に磨きをかける

JFE 商事は、JFE グループの中核商社として、国内外のグループ力強化を図り、高度化するお客様ニーズにスピーディーに対応していきます。

海外マーケットの開拓

成長地域・分野における需要の着実な捕捉とともに、地産地消に対応した地域戦略を推進します。



国内グループ力の強化

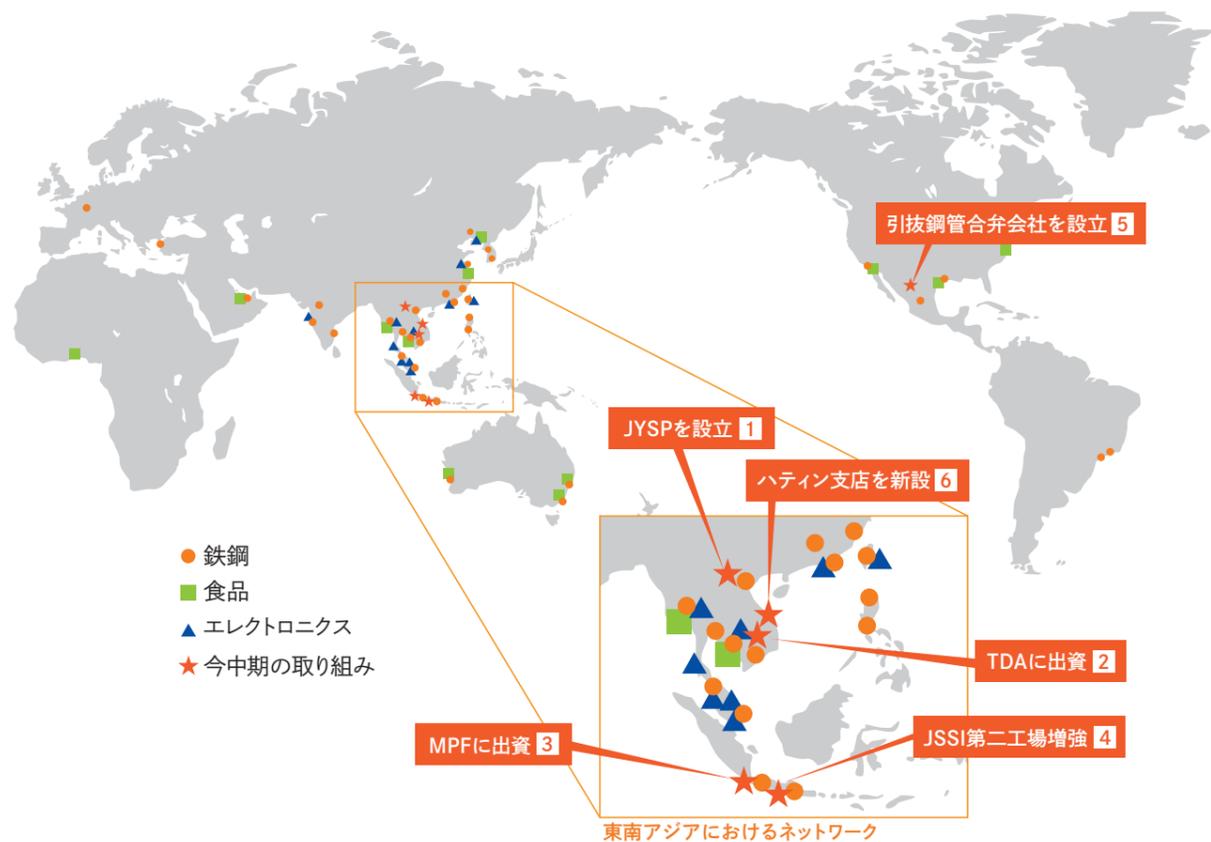
在庫・加工・リテール販売など、JFE 商事グループの機能を最適化させ、サプライチェーン全体の付加価値を向上させるサービスを提供します。



Efforts of JFE SHOJI TRADE-1

海外マーケットの開拓

アジア、北中米、そして新たな地域へ。
世界中に広がるネットワークを駆使して
お客様のニーズに応える



世界19カ国に55カ所の拠点を持つJFE 商事は、成長が見込まれる地域・分野へ積極的に経営資源を投入しています。なかでも、急速に成長するベトナムやインドネシアでは、現地企業への出資や建材分野では海外初となる鉄筋加工会社を設立。さらに、これらの現地ニーズにスピード感をもつ

て対応するべく、2017年4月にはアセアン事業本部を設置するなど、先を見据えた事業戦略を推進中です。

一方、エネルギー・自動車関連産業の需要が拡大する北中米にも、昨年、米州事業本部を設立。メキシコでは、現地鋼材メーカーとの合弁会社を新設するなど、グローバルに広がるネット

ワークを基盤にお客様のものづくりを多面的に支援できる体制を構築しています。

また、こうした取り組みは鉄鋼関連分野にとどまらず、ヤシ殻や木質チップなどのバイオマス燃料事業など、社会的ニーズへも幅広く対応しています。



1 ベトナムに建材分野で初の海外加工拠点JYSPを設立
JFE 商事鉄鋼建材が、鉄筋金網製造販売を手掛けるワイビーテクノと共同出資し、ベトナム北部に鉄筋加工販売会社JY Steel Processing Vietnam (JYSP)を設立しました。同社はJFE 商事グループの建材分野で初の海外加工拠点で、日系ゼネコン向けに鉄筋加工品を販売します。将来的には、地場ゼネコン向けに地場メーカー製の異形棒鋼を加工して供給する「地産地消」のビジネスモデルも構築し、ベトナムの建設業界に貢献していきます。



2 ベトナムの鋼板製造メーカーTDAに出資
鋼材消費量の伸長が期待されるベトナム市場において、大手冷延・メッキ鋼板メーカーのTon Dong A Corporation (TDA)の株式を取得しました。同社への熱延材などの素材供給、同社製品の輸出販売などを行います。



3 インドネシアの伸線加工会社MPFに出資
自動車部品メーカーの進出により伸線材需要の拡大が期待されるインドネシアにおいて、伸線加工会社PT. Mega Pratama Ferindo (MPF)の株式を取得しました。母材となるJFE スチール製線材の供給だけでなく、サプライチェーン全体に参画していきます。



4 インドネシアに自動車用鋼板の加工拠点を設置
インドネシアの鋼材加工センターPT. JFE Shoji Steel Indonesia (JSSI)では、自動車用鋼板加工を専門とする第二工場を増強しました。既存の工場建屋を約3割拡張し、自動車向けの高張力鋼板や広幅のコイルも加工可能な大型スリッターを導入。近接するJFE スチールの自動車用薄板鋼板事業会社 (JSGI)との連携を強化し、拡大するインドネシアの自動車鋼板需要を捕捉していきます。



5 メキシコで引抜鋼管合弁会社を設立
メキシコの鋼管メーカーProductos Laminados de Monterrey, S.A.de C.V.、冷間引抜鋼管の製造・販売を行うサンキン株式会社とともに、合弁会社Pro-SANKIN Tuberia de Precision, S.A.P.I de C.V.を設立し、2017年2月に稼働を開始しました。高級な引抜鋼管の製造・販売を行い、成長するメキシコ自動車産業の需要を捕捉していきます。

6 ベトナムのJFE 商事会社にハティン支店を新設
2016年7月、現地法人のベトナムJFE 商事会社の傘下に、ハティン支店を新設しました。JFE スチールが出資したベトナム一貫製鉄所Formosa Ha Tinh Steel (FHS社)の本格稼働に備えて、資機材を中心に現地に着目した販売活動を行うほか、将来的には鋼材販売拠点としても活用していきます。

業容拡大に伴い米州事業本部&アセアン事業本部を新設
地域戦略をより一層促進し、意思決定の迅速化を図るため、2016年4月に米州事業本部を、2017年4月にはアセアン事業本部を新設しました。統括機能のさらなる強化を図り、中長期的な成長戦略を実行していくことで、JFE グループの収益最大化を目指します。

Efforts of JFE SHOJI TRADE-2

国内グループ力の強化

国内流通網の最適化で さらなるグループ力の強化へ

鉄鋼原料、資機材、鉄鋼製品の加工・販売から、食品、エレクトロニクス、テールアルメまで、あらゆる領域で国内のニーズに対応するJFE 商事は、グループ各社との連携を強化し、最適な販売体制を構築してきました。今中期では、特にグループの機能強化と流通

網の最適化を追求し、マーケットでのシェア拡大とプレゼンスを向上させることで、収益の拡大を図っています。

その一環として、関西大手コイルセンター・近江産業への出資を決定。またJFE スチールグループの電磁鋼板加工会社を100%子会社化し、JFE

商事電磁鋼板を設立するなど、グループの枠を越えた幅広い視点での再編や機能強化に取り組んでいます。各社の商材や設備を戦略的に組み合わせ、サプライチェーン全体のさらなる価値向上を目指します。



1 JFE 商事電磁鋼板を設立
2017年4月、JFE スチールから全株式を移し、JFE 商事傘下に「JFE 商事電磁鋼板」が新たに誕生しました。この再編を通じて、多様化する国内電磁鋼板マーケットに柔軟に対応すると同時に、培ってきた加工技術やノウハウをJFE 商事が海外展開する加工センター網に活かし、機能を拡大していきます。



2 大手コイルセンターの近江産業への出資
関西地区の大手コイルセンターである近江産業に出資することを決定しました。現メインサプライヤーである当社と、既存株主の阪和興業が将来を見据えて協業することで、経営基盤の安定化と収益基盤の強化を図ります。今後想定される国内の鉄鋼需要を見据え、JFE 商事が持つ加工ネットワークを最適化し、ビジネスの拡大・創出を図っていきます。

JFE SHOJI TRADE HIGHLIGHT 2016

2016年	
4月	ステンレス・特殊鋼本部を改編 米州事業本部を新設 電機鋼材貿易部電機鋼材貿易室が富士ゼロックスのプレミアムパートナーに5年連続認定
5月	JFE Shoji Steel America, Inc.がIEEE(電子・電気技術学会)による変圧器業界の展示会「The 2016 IEEE PES T&D Conference & Exposition」に出展 JFE 商事テールワンがミャンマーからの研修生受け入れを実施
6月	Central Metals (Thailand) Ltd.がKang Yong Electric Public Co., Ltd.より2年連続で優秀サプライヤー賞を受賞
7月	ベトナムJFE 商事会社にハティン支店を新設
8月	JFE 商事造船加工が創立10周年記念式典を開催 川商フーズが日本水産と共同で香港Food Expo2016に出展 インドネシアの伸線加工会社PT. Mega Pratama Ferindoに出資
9月	阪和工材が吉川工場の屋根に太陽光発電を導入 JFE 商事鉄鋼建材がワイビーテクノと共同出資でベトナム北部に鉄筋加工販売会社JY Steel Processing Vietnam Co., Ltd.を設立
10月	インドネシア・パダンのPT. Jakarta Eco Tuanlagaとヤシ殻(PKS)出荷の包括提携を実施 JFE 商事造船加工の構内参加企業に製缶・船舶機装品を製造する京泉工業が参入
11月	JFE 電磁鋼板の100%子会社化を決定
12月	JFE 商事鉄鋼建材が鉄骨工事を請け負った呉市新庁舎が『月刊近代建築』に掲載
2017年	
2月	ベトナムの大手冷延・メッキ鋼板製造メーカーTon Dong A Corporationに出資
3月	関西大手コイルセンター・近江産業への出資を決定